



		就職内定率の向上	学校推薦による就職希望者の内定率100%を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部団体のガイダンスやセミナーを活用し、生徒の勤労観を育て、就労意欲を高める。</li> <li>全職員による面接指導を実施し、受験に備える。</li> </ul>	5	12月末で98%の内定率であった。今年度も求人数が多く、1度目で多くの生徒が内定を得た。不調に終わった生徒も2度目の挑戦で全員内定を勝ち取った。今後も引き続き、能力・適性について、指導助言を含め、的確な就職指導を実施したい。
	キャリア教育の充実	進路目標に向けた生徒の取り組み	自覚を持って進路目標へ向けて努力する生徒を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターンシップ、進路研究に対する指導を強化する。</li> <li>1年次よりライフプランニング教育に取り組み、生徒の進路選択に活かす。</li> </ul>	3	1年次のライフプランニング授業、2年次のインターンシップ・進路研究などの各行事を通して、より明確に進路目標を設定できるよう情報提供、及び指導を行った。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	遅刻生徒の根絶	時間を守ることの大切さを理解させ、遅刻者、0を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の登校指導において指導の徹底を図る。</li> <li>学年、担任と連携し、遅刻者への個別指導を行う。</li> </ul>	4	年々減少傾向にある。課題としては、少数ではあるが遅刻する生徒の固定化があげられる。今後も粘り強く、学年との連携を取りながら、きめ細かな指導を実施していく。
	交通安全意識の確立	交通事故件数の減少	加害被害とも、交通事故の件数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「交通安全講話」を実施し、その危険性を理解させる。</li> <li>生徒集会やHRを通じて指導を行い、安全意識を高める。</li> <li>危険個所については、登下校指導を行い、具体的に指導する。</li> <li>危険個所の登校指導を行い、具体的な指導を心がける。</li> </ul>	3	地域から随分と良くなってきているとの評価をいただいているが、まだまだ接触事故やマナーに対する苦情も多い。更に安全意識の高揚と交通マナーの遵守に努めさせ、交通事故防止(事故件数0)に繋げていきたいと思う。
人権教育	他者を思いやる人権感覚の育成	いじめの根絶	良好な人間関係を構築させ、いじめを根絶する。また様々な差別について学習し、人権感覚をみがく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任による面談や教育相談を充実する。</li> <li>「心のアンケート」を実施し、いじめの早期発見に努める。</li> <li>いじめ根絶に向けた標語等を募集し、生徒の意識高揚を図る。</li> <li>人権教育LHRをさらに充実させる。</li> </ul>	3	「心のアンケート」によっていじめを早期に把握できた。いじめ防止等検討委員会も適宜開催し、いじめの解消に尽力した。職員向けの人権たよりの発行も取り組んだ。今後、さらなる啓発活動を通して、他者に共感し、他者を思いやる気持ちが身につくよう指導していきたい。
開かれた学校づくり	地域との連携と協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校情報の公開</li> <li>ボランティア活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、地域住民の来校数を増加させる。</li> <li>地域主催の諸行事にボランティア参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業週間や千原台マーケットを実施し、保護者や地域住民に多数来校していただく。</li> <li>赤ちゃん交流や郷土料理講習会、新町・古町研究など地域と協力して生徒たちを育てる。</li> <li>地域の各種行事へ参加し、積極的にボランティア活動を行う。</li> </ul>	5	千原台マーケットを今年度から普通科も参加し、全校で取り組み、来客者数を大幅に増やすことができた。 ボランティア活動や地域連携の学習活動などを継続して取り組んできたが、この地域との連携を評価され、時事通信社「教育奨励賞」努力賞を受賞した。

#### 4 成果と今後の課題

成果としては、11月に創立60周年記念式典を挙行し、それに関連する千原台マーケットなどの諸行事を、全校を挙げて取り組むことができた。次の10年に向けて新たなスタートを切ることができた。学力向上の取り組みとして授業改善に取り組み、全職員で研修も行い、意識を高めた。進路指導の体制を改善し、新たな取り組みを行ったことで、成果をあげた。毎年懸案事項である交通安全指導についても粘り強く取り組み、大きな事故の発生を防ぐことができた。人権教育については特にいじめの早期把握に努め、解消に力を入れた。本校の特色のひとつである、地域との連携による教育活動の取り組みが評価され、時事通信社から「教育奨励賞」努力賞を受賞した。今後はさらに授業改善を推進し、学力の向上を図る必要がある。またいじめの未然防止や交通事故0に取り組まなければならない。進路指導については、さらに改善に取り組み、進路希望100%実現に向けて指導体制を整えていきたい。

